

子どもアドベンチャーカレッジ2022

出版社のお仕事東大野球部前浜田監督にインタビュー



目的 読書離れが騒がれる昨今で、少しでも読書の楽しさを知ってもらいたい

プログラム内容

- ①東大野球部浜田前監督と参加者の皆さんに事務局が準備致します同じ本を読んでいただきます。
- ②本を読んだ後で、どこが好きだったか理由をお話しします。
- ③浜田前監督からコメントをいただきます。
- ④浜田前監督から好きだった箇所とその理由について解説致します。
- ⑤浜田前監督より、勉強と部活動の両立のコツについてお話し致します。

- 参加対象者 6年生
- 場所 かながわ県民センター 306会議室
- 日程 8/17(水)11:00~
- 参加児童数 5名
- 保護者同半数 4名
- 題材にした書籍
「社会に出て君はどう生きるか」 工藤秀雄

当日の様子



全員で読書中



集合写真

振り返り会



■参加者からの感想

- ・色々な人の意見が聞けてよかった
- ・東大の人の思っていることが知れて勉強になりました
- ・人の考えや本からいろんなことを学んで勉強になりました
- ・いい経験になった
- ・知恵とか知識を学んだので生活にいかしたい

プログラムを終えての感想

■感想、反省など

- ・小学生の読書イベントは普段から本好きが集まるかと思いきや、運動大好き、国語は苦手という子もいて読書のきっかけになれたかと思います。テーマに文武両道をかかっていた効果かと推察します。印象に残った一文を上げてもらい、なぜ印象に残ったかを問うと、「体験」「目からうろこ」「不安」の3つの要素に分類されました。おもしろい。
- ・大学生のボランティアだけでなく、高校生、中学生にも、参加OKにしてもいいかもしれない。
- ・最初に予定していた出版社のお仕事、というよりは講義形式色が強かった。もう少し参加型にできたらよかった。

■学生コーディネーターの感想

- ・最初、本を読んだときの印象は小学6年生には難しいんじゃないか、飽きてしまわないかと心配でしたが、参加してくれたみんなが真面目に取り組んでくれて嬉しかったです。本の内容は大学3年の私にも響く部分があって、小学6年生の子どもたちと一緒に学ぶことができ、とても良い時間を過ごすことができました。
- ・最初の説明で難しくないかと心配してたのですが来てくれた子達のすごく前向きな取り組みをみてとても驚きました。浜田さんの貴重なお話を沢山聞くことができ、本当に色々な刺激を貰った一日でした。まだ1年生ですがこれからの大学生活やアルバイトに活かしていこうと思います。